

計画的な補修・補強

くらしの中の「みち」

道路を快適に利用するために

人と環境に優しい道路をめざして

交通安全対策と渋滞の緩和

災害から道路を守る

これからの道路管理

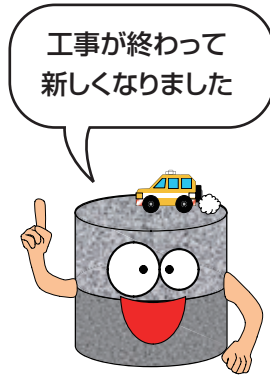
定期的な点検で得られた結果を台帳として整理するとともに、その点検結果等を踏まえ、管理する各種施設を計画的に補修・補強しています。

補修・補強工事の実施後は、施工履歴を台帳に蓄積していくことで、次の補修・補強計画の基礎資料としています。

道路路面の補修

路面性状調査や騒音振動調査等を実施し、調査結果及び沿道状況を踏まえ、補修箇所の選定や優先順位づけを行い、計画的に路面補修を行っています。

それにより、道路利用者の方々に、安全で快適な走行空間等を提供しています。



路面補修事業の流れ



道路施設の補修・補強

道路施設の破損や老朽化に対処し、常時良好に機能するよう、補修・改修を行います。

電力設備の改修

分電盤



改修前



改修後

機械設備の改修

ポンプ配管



改修前



改修後

2 道路を快適に利用するために

人と環境に優しい道路をめざして

地下歩道の改修

新宿副都心4号線地下歩道



改修前



改修後

3

4 交通安全対策と渋滞の緩和

トンネル照明の改修

小竹トンネル



改修前



改修後(LEDを採用)

4

5 災害から道路を守る

5

6 これからの道路管理

6

計画的な補修・補強

東京都建設局が管理する道路施設の多くは高度経済成長期に建設されており、今後一斉に更新や大規模補修の時期を迎えます。

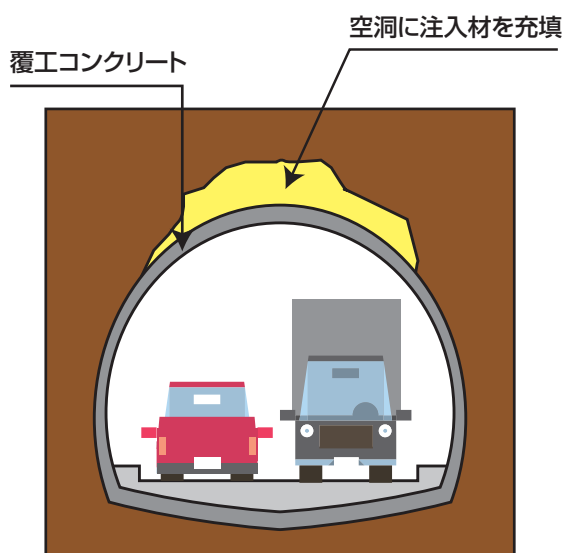
このため、計画的に補修や補強を行うことで施設の寿命を延ばし、工事費用の平準化や総事業費の縮減等を図る「予防保全型管理」の取組を進めています。

トンネルの予防保全型管理

トンネルの損傷や劣化が進む前に適切な対策を行うため、詳細健全度調査の結果を基に平成27年11月「トンネル予防保全計画」を策定しました。その後、新たな点検結果を基に令和3年3月に「第二次トンネル予防保全計画」として改定しました。この計画に基づき、点検・補修等を実施し、全てのトンネルを今後100年間更新することなく健全な状態に保つことを目指します。

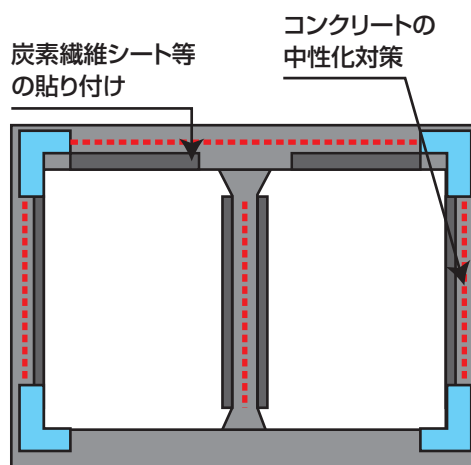
山岳トンネルの取組

- 覆工コンクリート背面の空洞に注入材を充填
- ひび割れや漏水などの損傷を適切に補修



開削トンネルの取組

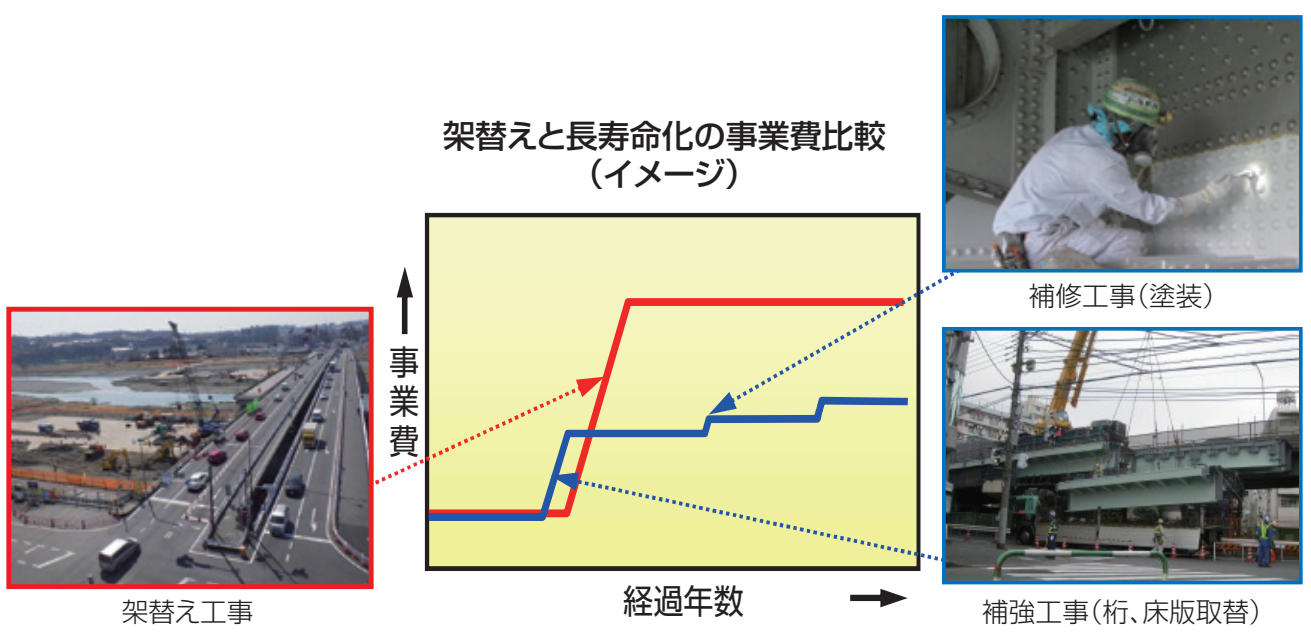
- 鉄筋の腐食につながる損傷を補修



橋梁の長寿命化事業

橋梁の長寿命化は、著名な橋梁や長大な橋梁などを対象として、現行の基準の要求性能(耐震性や耐荷性など)への適合を図る工事であり、対策後100年以上の延命を目指しています。

これにより、更新時期の平準化や総事業費の縮減を図るとともに、都民の安全・安心を確保し、次世代に良質なインフラを引き継いでいきます。



長寿命化対策例

コンクリートの劣化防止

桁の連続化

床版取替え

支承受替(免震化等)

フーチング補強

増杭

【長寿命化イメージ図】

路上工事の調整

くらしの中の「みち」

道路を快適に利用するために

人と環境に優しい道路をめざして

交通安全対策と渋滞の緩和

災害から道路を守る

これからの道路管理

道路上では、道路本体の整備や維持工事及びライフラインの整備などの様々な工事が数多く行われています。

東京都では、道路の不経済な掘り返しを防止し、円滑な交通の確保及び事故の防止を図るため、「東京都道路工事調整協議会（東京都、国土交通省、警視庁及び各占用企業者で構成）」を設置し、道路上の工事が計画的に行われるよう調整を行っています。

この協議会では、平成10年度から五箇年計画を策定し、路上工事時間について目標を設定するなど路上工事時間の抑制に取り組んでいます。

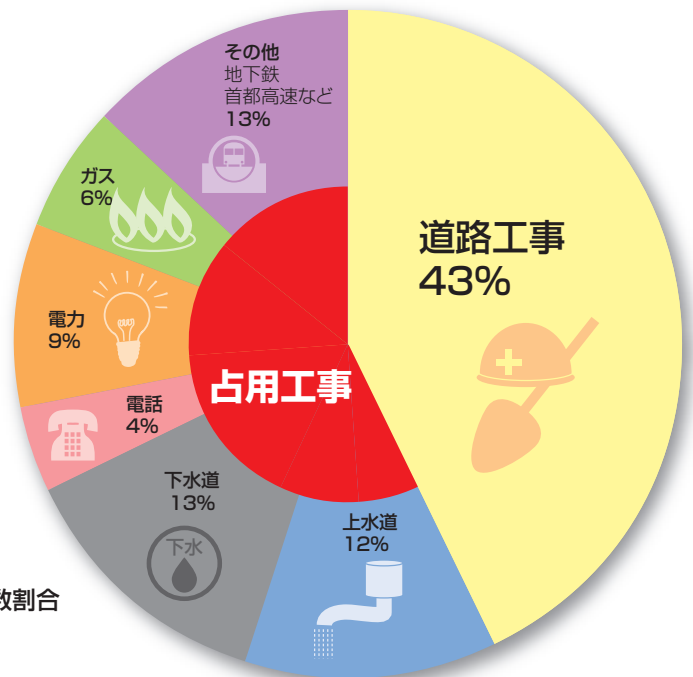
現在は「東京都内の路上工事対策五箇年計画（第五次）」（2018年度～2022年度）により、引き続き、路上工事時間の抑制（目標：80万時間以下）に努めるとともに、さらに「工事現場のマナー」向上などの路上工事改善を進め、道路利用者の不満解消などに取り組んでいきます。

また、主要道路43路線について、路上工事の情報をインターネットで提供しています。

路上工事の内訳（令和3年度・東京23区）

路上工事には、道路の補修・拡幅などを行う道路工事とライフラインなどを整備する占用工事がああります。

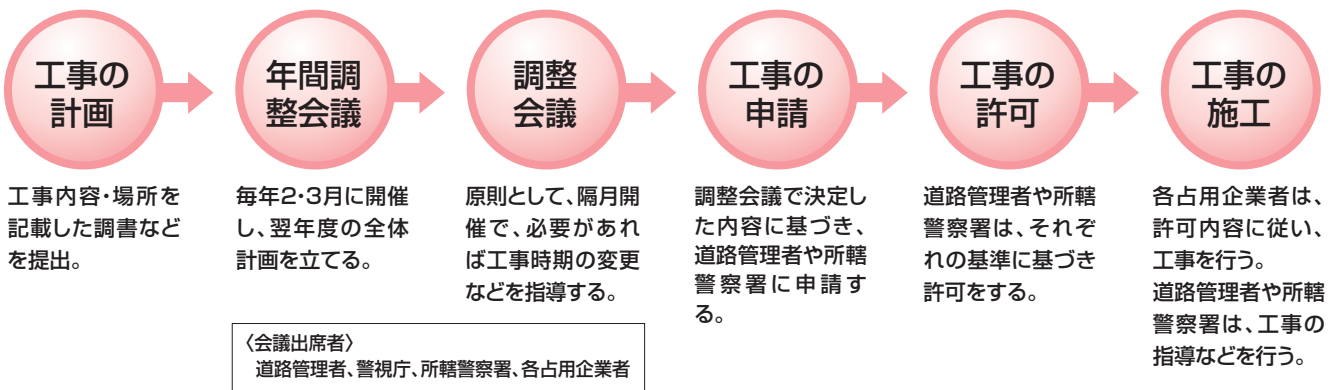
路上工事の内訳は、道路工事が約4割、ライフラインなどの占用工事が約6割となっています。



東京23区 国道・都道
令和3年度 路上工事件数割合

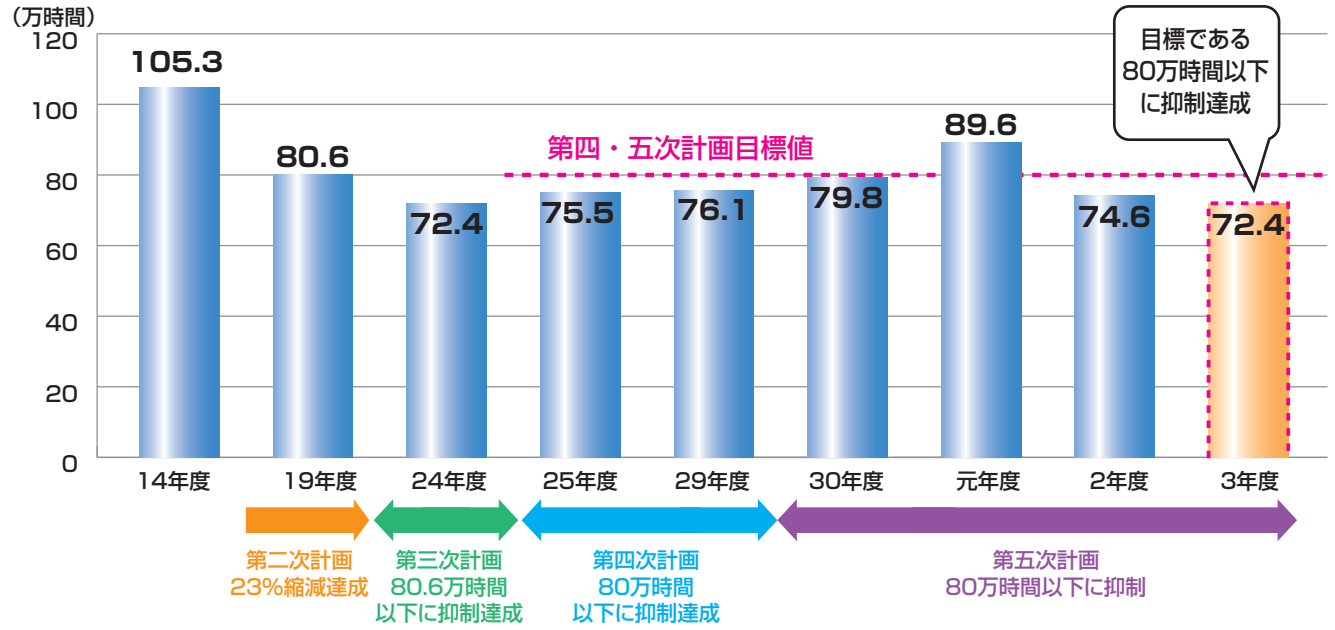
工事調整の流れ

道路上で行われる様々な工事について、道路工事調整会議を開催して調整しています。



区部路上工事縮減計画と路上工事時間の推移

路上工事時間を80万時間以下に抑制することを目標とし、取組をすすめています。
令和元年度は東京2020大会に向けた関連工事が増加したことなどにより目標時間の超過がありました。

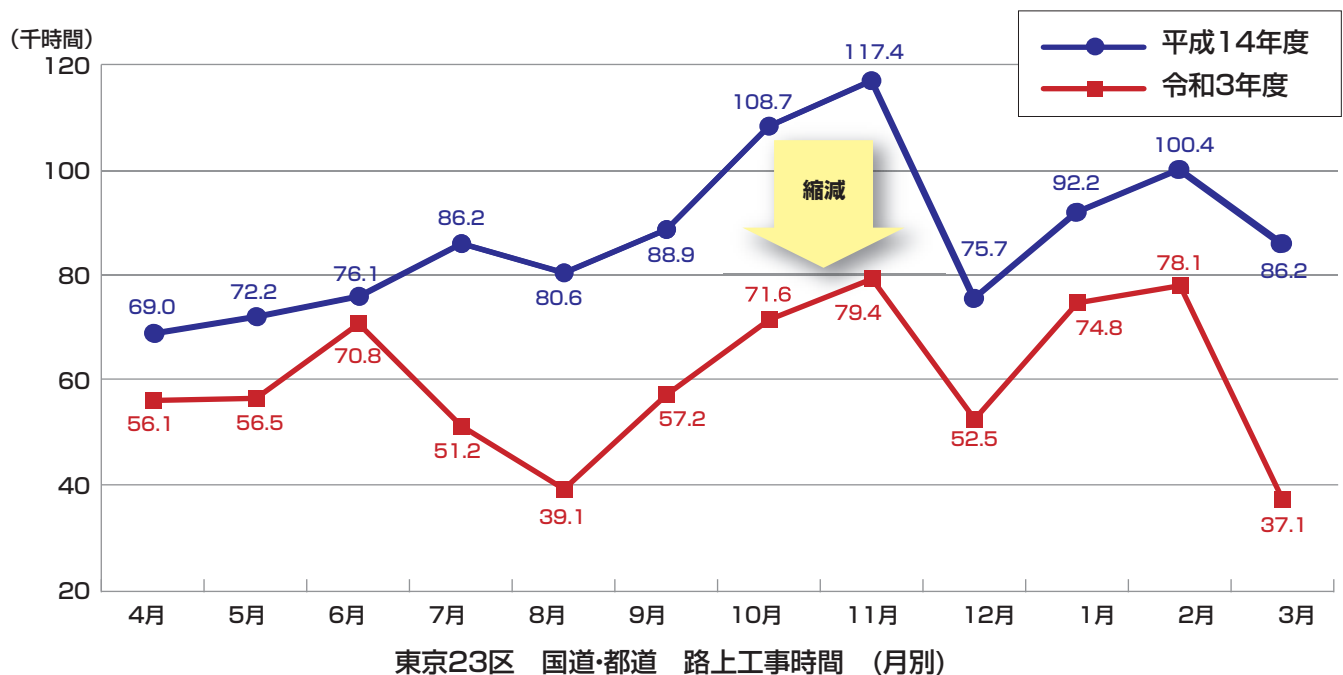


東京23区 国道・都道 路上工事時間 (年度別)

区部路上工事抑制の取組

年末・年始(12月・1月)・年度末(3月)の工事を抑制するなど、年度後半に工事が集中しないよう対策をすすめています。

令和3年度の路上工事時間は、平成14年度と比較して、年間を通じ、工事時間の縮減が進みました。



東京23区 国道・都道 路上工事時間 (月別)

路上工事の調整

道路工事情報の提供

道路利用者の利便性を高めるため、あらかじめ道路上で行われる予定の工事の内容や車線規制状況などの情報をインターネットで提供しています。

現在、内堀通り、明治通り、山手通り、青梅街道や府中街道といった主要都道43路線について検索できます。




「道路工事情報」トップ画面



検索画面



地域別の工事予定が地図でご確認いただけます。地図上の工事マークをクリックすると、工事の内容・目的・期間などをご確認いただけます。

●東京都建設局ホームページ

<https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jigyo/road/information/info/index.html>

(公財)東京都道路整備保全公社ホームページにおいて提供している道路工事情報を建設局ホームページから見ることができます。

くらしの中の「みち」

道路を快適に利用するために

人と環境に優しい道路をめざして

交通安全対策と渋滞の緩和

災害から道路を守る

これからの道路管理

1

2

3

4

5

6

隅田川橋梁群のライトアップ



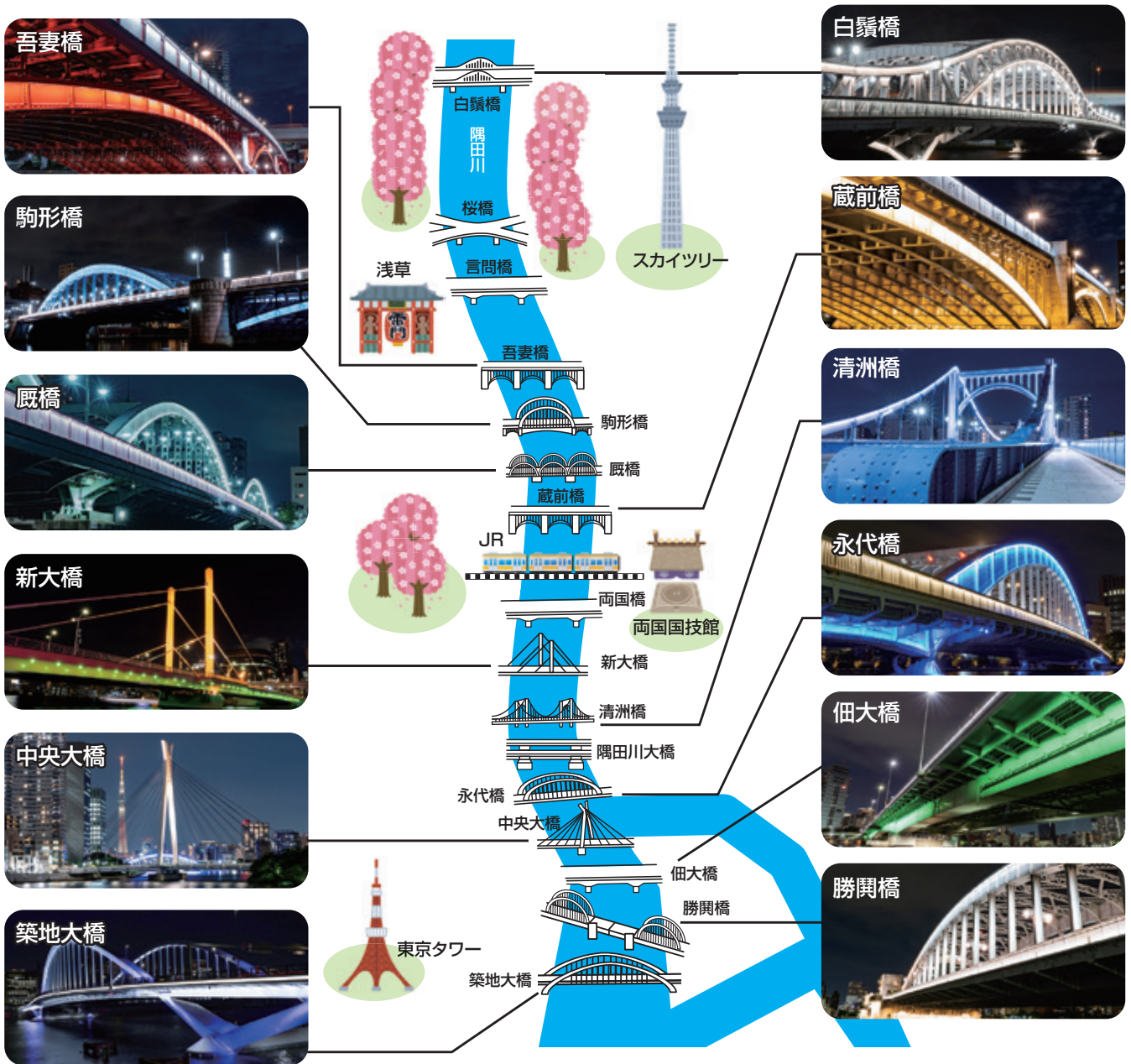
東京都では、水辺の賑わい向上や新たな観光資源としての活用を図る観点から、隅田川橋梁群のライトアップを実施します。

●ライトアップの対象橋梁

白鬚橋から築地大橋までの区間において、都が管理する橋梁のうち、12橋を対象としています。

●デザインの考え方

平成29年度から整備する橋梁10橋(新大橋・中央大橋以外)のデザインは、学識経験者等による検討委員会で審議し、決定しています。デザインは橋そのものの美しさを活かした芸術性の高いものとしています。また、環境に配慮したLED照明を採用するとともに、高欄部分(築地大橋はアーチ部分)はカラー演出が可能になっています。



くらしの中の「みち」

1

道路を快適に利用するために

2

人と環境に優しい道路をめざして

3

交通安全対策と渋滞の緩和

4

災害から道路を守る

5

これからの道路管理

6

歴史的土木施設の継承

道路施設の中には、建設後50年以上を経過し、東京の歴史的景観を形成して、都民になじみ深く、地域のランドマークの役割を果たしているものがあります。

これらの施設を、できる限り原形を保ちながら、建設当時の土木技術を後世に継承し、東京の持つ貴重な歴史的・文化的財産として守るとともに、歴史的景観の保全に努めています。

歴史上重要な橋梁

重要文化財等の認定を受けた橋梁一覧

勝鬨橋	重要文化財	平成 19 年
	日本機械学会認定「機械遺産」	平成 29 年
永代橋	重要文化財	平成 19 年
	土木学会選奨土木遺産	平成 12 年
清洲橋	重要文化財	平成 19 年
	土木学会選奨土木遺産	平成 12 年
奥多摩橋	土木学会選奨土木遺産	平成 21 年
閘門橋	土木学会選奨土木遺産	平成 25 年
東秋留橋	土木学会選奨土木遺産	平成 27 年
聖橋	土木学会選奨土木遺産	平成 29 年
蔵前橋	東京都選定歴史的建造物	平成 11 年
厩橋	東京都選定歴史的建造物	平成 11 年
駒形橋	東京都選定歴史的建造物	平成 11 年
吾妻橋	東京都選定歴史的建造物	平成 11 年
白鬚橋	東京都選定歴史的建造物	平成 11 年

国の重要文化財に指定された橋梁



勝鬨橋



永代橋



清洲橋



勝鬨橋橋脚内部の機械室

くらしの中の「みち」

道路を快適に利用するために

人と環境に優しい道路をめざして

交通安全対策と渋滞の緩和

災害から道路を守る

これからの道路管理

歴史上重要な橋梁(国の重要文化財は除く)



葦原橋



厩橋



駒形橋



吾妻橋



奥多摩橋



聖橋



白鬚橋



閘門橋



東秋留橋

かちどき 橋の資料館

橋梁技術の啓蒙、普及、伝承などを図るため、橋を開くために使用していた変電所を改修し、勝鬨橋をはじめ隅田川の橋について、貴重な資料や関連情報等を展示・公開しています。



かちどき 橋の資料館



橋の資料館内部

場 所 中央区築地六丁目20番11号
(勝鬨橋築地市場側橋詰)
開館時間 9時30分～16時30分
(12/1から2/28までは、
9時～16時)
開館日 毎週 火・木・金・土曜日
(12/29から1/3を除く)
電 話 03-3543-5672

くらしの中の「みち」

1

道路を快適に利用するために

2

人と環境に優しい道路をめざして

3

交通安全対策と渋滞の緩和

4

災害から道路を守る

5

これからの道路管理

6